

防災

Q 佐藤 峰樹 議員
避難行動要支援者避難計画の作成状況は？

A 市長
避難行動要支援者名簿の作成にあたり、自分の情報を地域の支援関係者に提供することに同意した方は70%。同意した方については自主防災組織を中心に個別避難支援計画を作成。同意していない方に対しては検討の必要がある。

Q 高橋 修 議員

避難所における乳児用粉ミルクをお湯などの必要がない液体ミルクに変更、備蓄する考えは？

A 市長
平成30年8月に基準が改正され、乳児用液体ミルクの国内製造が可能となった。粉ミルクと比べ割高で、賞味期限が短く、アレルギーへの対応が不明との理由で、今後調査のうち、検討を行う。



指定避難所に備蓄されている防災用品

可能となった。粉ミルクと比べ割高で、賞味期限が短く、アレルギーへの対応が不明との理由で、今後調査のうち、検討を行う。

財政

Q 櫻井 肇 議員

10月から消費税が8%から10%に引き上げられるが、増税が市民の暮らしに与える影響は？

A 市長
増税前の駆け込み需要の増加、その反動による個人消費の減少が予想され、住宅投資や

設備投資などへのマイナス影響が考えられる。また、食料品等への増税もあり、一般家庭の家計に影響が大きく及ぶことが懸念される。

Q 佐藤 明 議員

現在の市債残高は約550億円、今後の返済見通しは？

A 市長
合併当時より78億円ほど縮減している。残高の4分の3の元利および金利の支払いは、後年度に国からの交付税の措置、残り4分の1は市の財源で負担しなければならぬ。今後は、交付税措置の多い市債発行を考えている。

Q 本館 憲一 議員

平成31年度予算についての財政見通しと編成方針は？

A 市長
循環器内科、内分泌代謝科、泌尿器科、耳鼻咽喉科については、非常勤医師またはほかの診療科目の非常勤医師の兼務により診療を継続できる見込み。小児科、皮膚科、眼科については、岩手医科大学等に医師派遣を要請している。

生涯学習

Q 伊藤 盛幸 議員

人生100年時代における生涯学習の方向性は？

A 市長
第2期花巻市生涯学習振興計画を策定し、多様なニーズ、ライフスタイルに応じた講座の開設、自発的・主体的活動の支援等を展開している。今後も事業の充実、施設の維持管理など時代に即した内容で進めていく必要があると考えている。

まちづくり

Q 伊藤 盛幸 議員

住民主体のまちづくりについて、目指す姿にどの程度到達しているか？

A 市長
コミュニティ会議が中心となることで地域の横の連携ができた。また、地域づくり交付金の活用により、地域課題に早く取り組むことができています。地域の課題は自分たちで解決しようという意識が出てきていると評価している。



花北・日居城野コミュニティ会議が合同開催した自然観察会

A 市長

庁内で図書館の建設場所を含めた検討を進めており、市民に分かりやすく子どもたちの学習の場として活用しやすい場所への建設が重要と考え、花巻駅東口周辺のJR所有地を候補地とすることについて、JR東日本と今後、協議していきたい。

医療

Q 阿部 一男 議員

総合花巻病院の常勤医師体制が整っていない循環器内科等の医師の確保状況は？

A 市長
市内4カ所の小児科医院に確認したところ、平成29年の接種人数は340人ほどであり、接種率は56%であった。当市としては子育て世帯の負担軽減の観点からも、接種費用の助成に向けて検討している。



着々と工事が進む総合花巻病院建設事業

図書館

Q 大原 健 議員

新花巻図書館建設の都市再生機構の調査結果に基づく現時点の検討内容は？



新花巻図書館の候補地として花巻駅東口周辺での考えが示された